

週刊 タバコの正体



テレ東 BIZ ニュース 2021/5/28 から

目に多い20万人が亡くなったと伝えています。

こんなに多くの命を奪うタバコが世界中で広く販売されていても良いのか、と感じませんか。じつは、世界の人々の保健衛生を管轄する世界保健機関(WHO)は、この状態を解決するための法律を制定しています。タバコ規制枠組条約(Framework Convention on Tobacco Control)通称 FCTC と呼ばれて、下図のようなタバコ規制が定められています。

この国際条約を守る約束(批准)した国々は、「タバコ税を上げて使用を減らす」、「受動喫煙をなくす」、「タバコの危険性をしっかり警告する」、「タバコの販売促進活動を禁止する」などの対策をとらなければなりません。

喫煙が原因で亡くなる人はかなり多い事を知っていますか。左図のニュースでは、2019年に世界中で769万人そのうち日本は6番

目に多い20万人が亡くなったと伝えています。現在、世界のほとんどの国が批准しているので、世界中でタバコ規制が進んでいます。前回紹介した世界各国のタバコの値段が高いのはその証拠です。

日本も2004年に批准していますが、タバコの値段は各国に比べ安く、国民に危険性をしっかりと警告しているとは言えないなど、あまり積極的ではないので、多くの国民は国際社会でタバコ規制が進んでいる事を知りません。

世界は国際条約のもと将来の世代をタバコの被害から保護するため動いています。

皆さん、将来の世代の一人として、この事を認識しておいて下さい。

産業デザイン科 奥田恭久



**FCTC タバコ規制枠組条約を知っていますか?**

タバコは死亡、疾病および障害をおこすことが、科学的証拠により明らかにされています。タバコには毒性、発がん性があり、タバコを吸うことは依存症という病気です。タバコによる害の広がり深刻で世界的な問題であり、各国が組織的に国際協力をするために条約を制定しました。我が国を含む、174カ国が批准をしています(2011年11月現在)。世界中のほとんどの国が批准していると言っても言い過ぎではありません。

**WHOからのメッセージ**

- タバコ使用を減らせるようにタバコ税を上げる
- タバコ製品の成分・添加物を規制する
- 受動喫煙の害を完全になくする
- タバコ製品のパッケージやラベルの規制を厳しく行う
- 国民にタバコの危険性をしっかりと警告する
- タバコ依存から抜け出すための援助を行う
- タバコの広告、宣伝、販売促進活動を禁止する
- 国民の健康を守る政策がタバコ産業とその利害関係者によって捻じ曲げられないようにする
- タバコ製品の密輸・不法取引を根絶する
- タバコ税増に代わる経済的に実現可能な転作を支援する
- 子どもにタバコ製品を売らない
- タバコ製品に関する情報を完全に開示させる

特定非営利活動法人 日本禁煙学会・ノバルティス ファーマ株式会社